

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時： 平成26年5月1日（木） 18：15～19：15

場所： D棟3階 示説室

講師： 伊藤 中 先生（大阪大学歯学研究科臨床准教授）

演題：「齲蝕という疾患の考え方」

要旨： 齲蝕治療は、一般にイメージされているような「削って詰める」修復治療だけでは完結しない。個々の患者のリスクの評価や、個々の病変に対する診査・診断などを時間の流れの中で行っていく必要がある。そのような考え方のもとに、どのような臨床体系を構築していけばいいのかを紹介する。

問い合わせ先：（歯科保存学教室・内線2927）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時： 平成26年5月15日（木） 17：00～18：00

場所： D棟3階 示説室

講師： 木ノ本 喜史 先生（吹田市開業・大阪大学大学院歯学研究科臨床教授）

演題：「エンドにおける感染防御 1」

要旨：歯内療法は根管の拡大や充填に興味が集がちだが、本来の目的は歯髄あるいは歯根膜などに生じた創傷の治癒を導き、根管を封鎖することによって将来の根尖部への感染を防止し、歯を機能させることにある。しかしながら、日常の臨床において注意して行っている根管治療が無意識の間に感染を招き、打診痛の出現や後の膿瘍形成、根尖病変へとつながっている場合がある。今回は、根管治療中に生じやすい感染の機会を取り上げ、その対処法を示したい。



問い合わせ先：（歯科保存学教室・内線2927）

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時：平成26年5月28日（水） 17時30分～18時30分

場所：D棟4階 第3講義室

講師：大川玲奈（大阪大学歯学部附属病院小児歯科助教）

演題：骨系統疾患患児における歯科所見とその対応法について

要旨：骨系統疾患患児では、歯に特異的な症状を示す場合があることは広く知られています。当科では、平成24年度から2年にかけて厚生労働省科学研究「重症骨系統疾患の予後改善に向けての集学的研究」の一員として、重症骨系統疾患における歯科的な問題点を整理し、その対応法について検討してきました。具体的には、特に当科受診の多い、骨形成不全症、低フォスファターゼ症、低リン血症性くる病に対して、現在受診中の患児に加えて過去の症例における臨床所見とその対応法をまとめ、よりよい予後を追求したストラテジーの構築を試みました。本セミナーでは、これらの成果に関して、小児歯科医以外にも知っていただきたい知識を中心にお話したいと考えています。

問い合わせ先：仲野和彦（小児歯科学教室・内線2963）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時：平成26年6月4日（水）11日（水）17時30分～18時30分（全2回）

場所：D棟4階 第3講義室

講師：佐々木秀和

（大阪大学歯学研究科臨床准教授、日本小児歯科学会専門医指導医）

演題：小児における外傷歯の診断と治療について

要旨：外傷歯への対応は突然行わなければならないため、慌ててしまうことも多いと思います。小児の外傷に対しては、なおさら困ってしまうこともあるのではないのでしょうか。本セミナーでは、外傷を受けた乳歯や幼若永久歯に対する診断および治療法について、具体的な症例を多く提示しながら、できるだけシンプルに説明したいと考えています。本セミナーを通じて、一般的な小児歯科医が持っている外傷歯への対応についての考え方を理解し、今後の臨床に役立てていただきたいと思います。

問い合わせ先：仲野和彦（小児歯科学教室・内線2963）

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

- 日時： 6月 5日（木） 17：00～18：00
- 場所： 弓倉記念ホール（F棟5階）
- 講師： 北村正博（大阪大学歯学研究科准教授）
- 演題： ルートプレーニングの科学と臨床効果
- 要旨： 歯周基本治療の主要な処置であるルートプレーニングの理論的背景とその臨床効果について、症例を交えてお話しします。

問い合わせ先：（口腔治療学教室・内線 2931）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時： 平成26年6月26日（木） 17：00～18：00

場所： D棟3階 示説室

講師： 木ノ本 喜史 先生（吹田市開業・大阪大学大学院歯学研究科臨床教授）

演題：「エンドにおける感染防御 2」

要旨：歯内療法は根管の拡大や充填に興味が集がちだが、本来の目的は歯髄あるいは歯根膜などに生じた創傷の治癒を導き、根管を封鎖することによって将来の根尖部への感染を防止し、歯を機能させることにある。前回に引き続き今回は、根管治療中に生じやすい感染の機会を取り上げ、その対処法を示したい。日常の臨床の中で見逃されている感染の機会を見だし、徹底的に取り組むことで、成功率の高い歯内療法が実践できるきっかけになる話題を提供したい。



問い合わせ先：（歯科保存学教室・内線2927）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時：平成26年6月17日（水）、24日（水） 19時00分～20時00分

場所：D棟4階 第3講義室

講師：佐々木秀和先生

（大阪大学大学院歯学研究科臨床教授、日本小児歯科学会専門医指導医）

演題：小児における外傷歯の診断と処置法について

第1回：6月17日（水）、第2回：6月24日（水）

要旨：日常臨床では突然外傷歯への対応を求められることがあります。常に冷静に対応し適切な処置を行わなければなりません。経験を積むまではなかなか理想通りにはいかないのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、主に乳歯列期および混合歯列期に生じる外傷歯への対応に関して取り上げます。また、これまでの経験から考えられる外傷歯へのアプローチに関しても、具体的な症例を出して述べさせていただきます。本セミナーを機に、これまでに持っている知識を再整理していただければ幸いです。なお、本セミナーは、これらの内容に関して2回に分けてお話いたします。
※本セミナーは研修医セミナーを兼ねています。

問い合わせ先：小児歯科学教室・内線2962

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

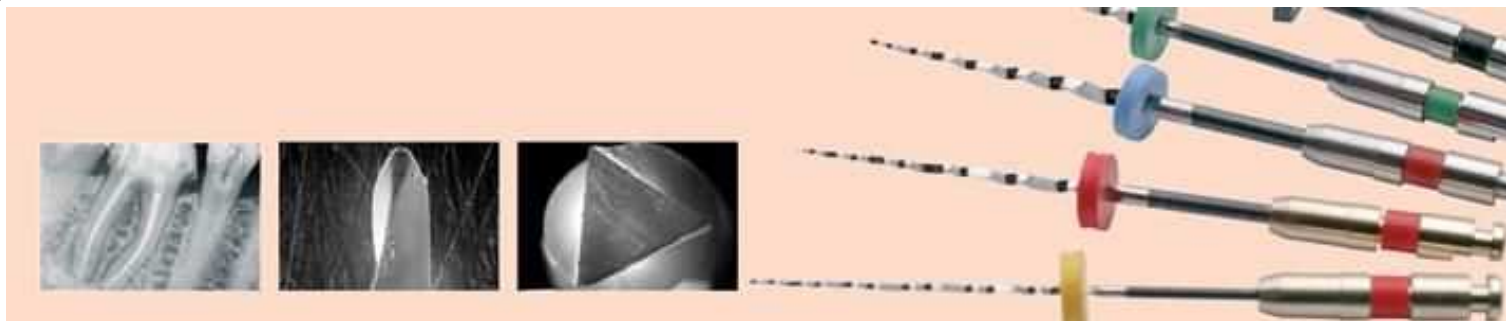
日時： 7月16日(木曜日)18:15～19:15

場所： 弓倉記念ホール

講師： 木山貴博(白水貿易株式会社)

演題： FKG社RaCe Rotary NiTi Fileについて

要旨： 口腔治療・歯周科にて使用しているRaCe Rotary NiTi Fileは、ストレートとスパイラルの2つのカッティングエッジを持つ独特の形状により、噛み込みや目詰まりが少なく、切削片や残渣等も効率よく除去できます。RaCe Rotary NiTi Fileの使用法を、透明人工根管を用いたデモを交えて説明いたします。



問い合わせ先：(口腔治療学教室・内線2932)

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時： 8月27日(木曜日)17:30～18:30

場所： 弓倉記念ホール

講師： 関口祐太郎(株式会社GC)

演題： Carl Zeiss社OPMI PROergoについて

要旨： 口腔治療・歯周科にて使用している歯科用手術用顕微鏡Carl Zeiss社OPMI PROergoは、明るい視野、色再現性に優れた光学系、人間工学に基づいたデザインなど、様々な機能を備えた最新のデンタルマイクロスコープです。OPMI PROergoの使用法をデモを交えて説明いたします。



問い合わせ先：(口腔治療学教室・内線2932)

大学院特別講義のご案内

- 日時:平成27年10月21日(水)17:00~18:30
- 場所:D棟3階 示説室
- 講師:永田省藏先生(熊本市開業)
- 演題:ブリッジを考える

～予後の良否を決める要因は何か？

- 要旨:我々は、これまで数多くの症例で歯冠補綴やブリッジワークを行ってきました。しかし、その術後経過は様々で、長期的にはどのような経過をたどるのか、未知数的な側面が多く、予後予測が難しいのがブリッジでもあるように思います。また、欠損歯列において、上顎前歯の存在価値は大きく、予後を握る鍵と言えますが、この部のブリッジの長期経過から、予後を握る要因について、考察してきたことを皆様に問いたいと考えています。
- 問合せ先:有床義歯学・高齢者歯科学分野(内線2954)
※「口の難病」クリニカルセミナーも兼ねます

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時：平成28年2月25日（木） 18：00～

場所：F棟5階弓倉記念ホール

講師：森田泰成（株式会社GC）

演題：歯科用レーザーの臨床における応用

要旨：歯科用レーザーには様々な種類が存在し、臨床で用いる際にもレーザーの特徴を理解し、場面場面に合わせた適切な選択が重要となります。GCより講師をお呼びして、歯科用レーザーの種類、特徴、臨床への応用方法などについて、スライド及び実際の器具を用いながら説明します。

問い合わせ先：（教室名口腔治療・歯周科 内線電話番号 2932）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2016年7月21日(木) 18:00～19:00
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 清水 篤
(株式会社 モリタ)

- ◆ 演題：

- ◆ エルビウムヤグ(以下、Er:YAG)レーザー装置の原理と
歯科治療への応用

- ◆ 要旨：

レーザー治療について、その原理と多彩な歯科治療への応用について講演を行います。痛みと振動が少なくヒトにやさしいEr:YAGレーザー装置としてモリタが開発したアーウィン アドベールを用いた技術デモ講習を予定しております。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時：平成 28 年 11 月 9 日（水） 19:00～20:00
11 月 16 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

講師：佐々木秀和先生(大阪大学大学院歯学研究科臨床教授、日本小児歯科学会専門医指導医)

演題：小児における外傷歯の診断と処置法について

第 1 回：11 月 9 日(水)、第 2 回：11 月 16 日(水)

要旨：日常臨床では突然外傷歯への対応を求められることがあります。常に冷静に対応し適切な処置を行わなければなりません、経験を積むまではなかなか理想通りにはいかないのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、主に乳歯列期および混合歯列期に生じる外傷歯への対応に関して取り上げます。また、これまでの経験から考えられる外傷歯へのアプローチに関しても、具体的な症例を出して述べさせていただきます。本セミナーを機に、これまでに持っている知識を再整理していただければ幸いです。なお、本セミナーは、これらの内容に関して 2 回に分けてお話いたします。

※本セミナーは研修医セミナーを兼ねています。

問い合わせ先：(小児歯科学教室・内線 2962)

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時：平成 28 年 11 月 30 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

講師：花岡一誠先生(日本スポーツデンティストクラブ理事)

演題：小児におけるスポーツ歯科

要旨：部活動や課外活動などスポーツは人々の生活に強く根付いており、歯科医師は口腔の健康をサポートするスポーツドクターとして身近な存在でなければなりません。スポーツ歯科医学は歯科医学や歯科医療の発展とともに徐々に関心が高まってきておりますが、小児歯科領域においてはまだ完全に体系化されておられません。今回のセミナーでは、スポーツ歯科医学の基礎知識を解説し、成長発育期の子供達への適切なスポーツ歯科的アプローチについて述べさせていただきます。本セミナーを機に、スポーツと子供達の口腔の健康増進について考える第一歩にしていいただければ幸いです。

※本セミナーは研修医セミナーを兼ねています。

問い合わせ先：(小児歯科学教室・内線 2962)

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内



- ◆ 日時： 2016年12月22日 (木) 16:30~18:00
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 倉嶋 敏明 先生 (新潟市開業)
- ◆ 演題： 欠損形態の改変と補綴的補完医療の考え方から
『オーラル・フレイル』の予防策；高齢者の食力の維持・向上を目指す

要旨：日本における高齢化は著しく、現在すでに高齢者率26.8%超の「超高齢社会」となっている。そのような社会背景の中では未だ中等度から多数歯欠損症例に対する義歯治療の比率は高い。しかし日常臨床では義歯で補綴治療を行ったとしても対合関係によってはさらなる崩壊への転落を抑制できない場合もあり、可撤性補綴の限界を痛感する場合も少なくない。オーラル・フレイルは進行して口腔機能低下症をもたらす徐々に全身的なフレイルへ至る一因ともなる。そのような進行性病態に歯止めをかけるため、義歯とインプラントの利点が互いに支え合う利用法も一考の価値がある。

従来は固定性補綴を前提として議論されることが多かったインプラント治療だが、近年中等度から多数歯欠損症例に対するインプラントを併用したパーシャルデンチャー(Implant Assisted Removable Partial Denture以下IARPD)に視線が向けられている。

インプラントと義歯の併用について、無歯顎への応用(いわゆるインプラントオーバーデンチャー以下IOD)は周知されているが、天然歯・義歯・インプラントが共存するIARPDについては未だ認知度はそれほど高いとは言えない。しかし臨床現場では難症例への欠損形態改変のため、実際のところIARPDは徐々に積み重ねられているのである。

天然歯・義歯・インプラントの共存での欠損歯列改変を補綴的補完医療と捉え、インプラント治療／補綴治療の幅と超高齢社会でのオーラル・フレイル予防としての応用を考えていきたい。

(問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954)

※大学院特別講義も兼ねます

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年6月15日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 科研製薬（株）学術センター 橋本克彦
口腔治療・歯周科 北村正博
- ◆ 演題： 歯周組織再生剤「リグロス®歯科用液キット」の使用法
- ◆ 要旨： ヒト型リコンビナントFGF-2製剤が、平成28年9月28日に厚生労働省から製造販売承認を取得し、日本発・世界初の歯周組織再生剤「リグロス®歯科用液キット」として市販が開始されました。フラップ手術時に「リグロス®」を投与する事で、これまで困難であったケースの歯周組織の再生が可能となるものと考えられます。本セミナーでは、製造元である科研製薬より、「リグロス®」の商品説明を行います。そして、口腔治療・歯周科での臨床例をお示しするとともに、本院での薬剤オーダーや電子カルテの入力方法について説明を行います。
多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年7月20日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員

- ◆ 演題： 歯周疾患の診断、治療計画の立案 『Diagnosis』
- ◆ 要旨： 歯周疾患の診断を正確にできていますか？歯周疾患の治療には、各々の歯周疾患の診断に応じた治療、メンテナンスのアプローチが必要です。歯周疾患の診断には、全体像を把握することが必須であり、歯周疾患に対する治療の第一歩となります。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの第一回です。多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年9月14日（木） 17：30～18：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 奈良県橿原市開業 岩崎 正一郎 先生
- ◆ 演題： 歯根破折歯の保存治療への取り組み
- 要旨： 歯根破折が原因で、多くの歯が抜歯される一方、垂直破折歯根の保存治療も行われており、スーパーボンド®を用いて、破折離開した歯根を口腔外で接着し、再植する治療法により、長期間良好に経過している症例も報告されています。また、この治療法の治癒状態を 病理組織学的に検討した研究において、破折間隙のスーパーボンド®の歯周組織に対する親和性が示され、その妥当性が得られています。本講演では、歯根破折歯の接着再植治療法を中心に、歯根破折歯の保存治療への取り組みについて、症例を供覧しながら、その方法や対応、そして現在の考えを述べさせていただきます。

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年9月21日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員
- ◆ 演題： 歯周疾患の病因を把握する 『Etiology』
- ◆ 要旨： 前回の歯周疾患の診断に続き、今回は歯周疾患の病因を把握するために見るべきポイントをお話します。歯周病に罹患した原因を把握し、これらの原因を除去することが歯周治療の基本です。効果的な治療を行うために、『何が原因なのか』を明確にする必要があります。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの第二回です。

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」 クリニカルセミナー

問い合わせ先：（口腔治療学教室・内線2932）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

日時： 2017年9月28日（木） 18:00～19:15

場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール

講師： サトウ歯科・デンタルインプラントセンター大阪
佐藤琢也

演題： Minimally Invasive Surgery

ーマイクロスコープを用いた歯周・補綴・口腔外科術式ー

内容： 最小の外科的侵襲にて、生物学的、審美的にも満足しうる治療結果を達成しようとするMIS（Minimally Invasive Surgery）が提唱されつつある。すなわちマイクロスコープを用いた新しい手術術式により、患者の疼痛を軽減し、より良好な治癒を獲得する試みである。

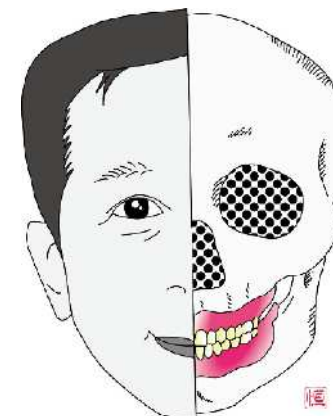
本講演では歯周治療やインプラント治療におけるMISの臨床術式と症例を供覧し、この意義について諸兄先生方と共に議論を深めたいと思う。

問い合わせ先：（口腔治療学教室・内線2932）

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2017年10月17日（火） 17:15～18:45
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 小野 高裕 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野教授
大阪大学、東京医科歯科大学、東北大学、北海道大学、徳島大学各歯学部、
京都学園大学健康医療学部 非常勤講師
大阪大学国際医工情報センター 招聘教員



◆ 演題： 咀嚼から始まる新しいヘルスプロモーション

- 要旨：「咬合・咀嚼が創る健康長寿」という標語が、日本学術会議咬合学研究連絡委員会によって最初に掲げられてからすでに13年が経過している。この間、超高齢社会における医療・介護の問題が次々と明らかとなり、咬合・咀嚼の育成・維持・回復に責任ある歯科医療のさらなる貢献が求められるようになってきた。今回は、「咀嚼を測る」という観点からの新しい取り組みに加えて、「咀嚼を鍛える」という観点からも、生活習慣病やフレイル予防に貢献する新しいヘルスプロモーションの可能性を示していきたい。

(問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954)
※「口の難病」臨床セミナーも兼ねます

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時：平成 29 年 10 月 18 日（水） 19:00～20:00
11 月 1 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 大講義室

講師：佐々木秀和先生(大阪大学大学院歯学研究科臨床教授、日本小児歯科学会専門医指導医)

演題：小児における外傷歯の診断と処置法について

第 1 回：10 月 18 日(水)、第 2 回：11 月 1 日(水)

要旨：日常臨床では突然外傷歯への対応を求められることがあります。常に冷静に対応し適切な処置を行わなければなりません。経験を積むまではなかなか理想通りにはいかないのではないのでしょうか。今回のセミナーでは、主に乳歯列期および混合歯列期に生じる外傷歯への対応に関して取り上げます。また、これまでの経験から考えられる外傷歯へのアプローチに関しても、具体的な症例を出して述べさせていただきます。本セミナーを機に、これまでに持っている知識を再整理していただければ幸いです。なお、本セミナーは、これらの内容に関して 2 回に分けてお話いたします。

※本セミナーは研修医セミナーを兼ねています。

問い合わせ先：（小児歯科学教室・内線 2962）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年11月16日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員

- ◆ 演題： 歯周疾患の予後判断 『Prognosis』
- ◆ 要旨： 治療計画立案、及び治療方針決定には、歯周疾患の予後判断を行うことが必要です。なぜなら、口腔内全体として、また個々の歯の予後を予測しなければ、治療計画を立案できないからです。また、患者さんに現在の口腔内の状態を伝え、治療の必要性、複数の治療計画の特徴を説明し、理解してもらうことで、治療方針が決定します。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの第三回です。

「口の難病」 クリニカルセミナー 問い合わせ先：（口腔治療学教室・内線2932）

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」 クリニカルセミナーのご案内

日時：平成 29 年 11 月 22 日（水） 19:00～20:00

場所：D 棟 4 階 第 3 講義室

講師：花岡一誠先生(日本スポーツデンティストクラブ理事)

演題：小児におけるスポーツ歯科

要旨：部活動や課外活動などスポーツは人々の生活に強く根付いており、歯科医師は口腔の健康をサポートするスポーツドクターとして身近な存在でなければなりません。スポーツ歯科医学は歯科医学や歯科医療の発展とともに徐々に関心が高まってきておりますが、小児歯科領域においてはまだ完全に体系化されておられません。今回のセミナーでは、スポーツ歯科医学の基礎知識を解説し、成長発育期の子ども達への適切なスポーツ歯科的アプローチについて述べさせていただきます。本セミナーを機に、スポーツと子ども達の口腔の健康増進について考える第一歩にしていただければ幸いです。

※本セミナーは研修医セミナーを兼ねています。

問い合わせ先：（小児歯科学教室・内線 2962）

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2017年12月21日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員

- ◆ 演題： 歯周疾患の治療計画と治療① 『Treatment』
- ◆ 要旨： 診断、病因の検討、予後を判断した後、治療計画を立案し、患者との相談の後に、治療方針を決定します。治療計画は一つとは限りません。そのため、多くの治療法に関しての知識、技術を身につけておく必要があります。今回は、非外科的治療とそれに付随する処置を中心にお話する予定です。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの第四回です。

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

- ◆ 日時： 2018年2月15日（木） 18：30～19：30
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員

- ◆ 演題： 歯周疾患の治療計画と治療④ 『Treatment』
- ◆ 要旨： 診断、病因の検討、予後を判断した後、治療計画を立案し、患者との相談の後に、治療方針を決定します。治療計画は一つとは限りません。そのため、多くの治療法に関しての知識、技術を身につけておく必要があります。今回は、非外科的治療とそれに付随する処置を中心にお話する予定です。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの第四回です。

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

「口の難病」クリニカルセミナーのご案内

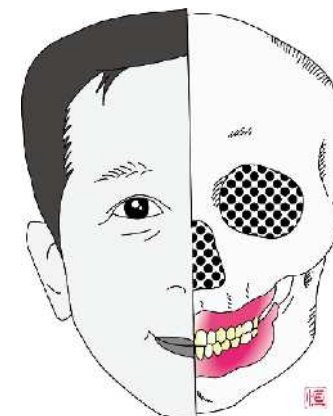
- ◆ 日時： 2017年3月15日（木） 18：00～19：00
- ◆ 場所： 大阪大学歯学研究科 F棟5階 弓倉記念ホール
- ◆ 講師： 米国歯周病学会 専門医 辻 翔太
口腔治療・歯周科 招聘教員
- ◆ 演題： 歯周形成外科とメンテナンス
- ◆ 要旨： 前回は、歯周治療の硬組織に対する外科的アプローチを中心にお話しました。今回は、軟組織に対する歯周外科治療についてお話しすると共に、動的歯周治療後のメンテナンスについてもお話する予定です。本セミナーは、歯周治療を、臨床的な観点からお話していくシリーズの最終回です。

多数、ご参加していただきます様、お願い申し上げます。

大学院特別講義のご案内

- ◆ 日時： 2018年10月9日（火） 17:15～18:45
- ◆ 場所： D棟4階 大講義室
- ◆ 講師： 小野 高裕 先生

新潟大学大学院医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野教授
大阪大学、東京医科歯科大学、東北大学、北海道大学、九州大学各歯学部、
京都学園大学健康医療学部 非常勤講師



◆ 演題：「質」と「量」から測る健康における咀嚼の価値

- 要旨： 平成30年保険改定で「口腔機能低下症」の疾患概念が導入され、歯科医療はいよいよ健常者から有病者へ、形態から機能へのシフトの必要性に迫られています。フレイル予防の先には、「人生100年時代」が控えており、人生後半戦においていかにして健康を維持・増進するか、国家を挙げてヘルス・プロモーションの方策を模索しているところです。多くの研究によって健康との関連が示唆されている「咀嚼」ですが、歯科医療において育成・治療の対象となる咀嚼の「質」に加えて、日々の生活の中で営まれる咀嚼の「量」が、これから注目されると考えられます。今回は、大阪大学と新潟大学で取り組んでいる様々なデバイスを用いた咀嚼の評価法から、今後の臨床と研究の可能性についてお話ししたいと思います。

(問い合わせ先：有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 内線：2954)
※「口の難病」クリニカルセミナーも兼ねます